

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う 緊急地震速報への影響について

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴い、当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より遅くなる可能性があります。

6月5日（水）14時52分頃から、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムにおいて障害が発生しており、原因は現在調査中です。

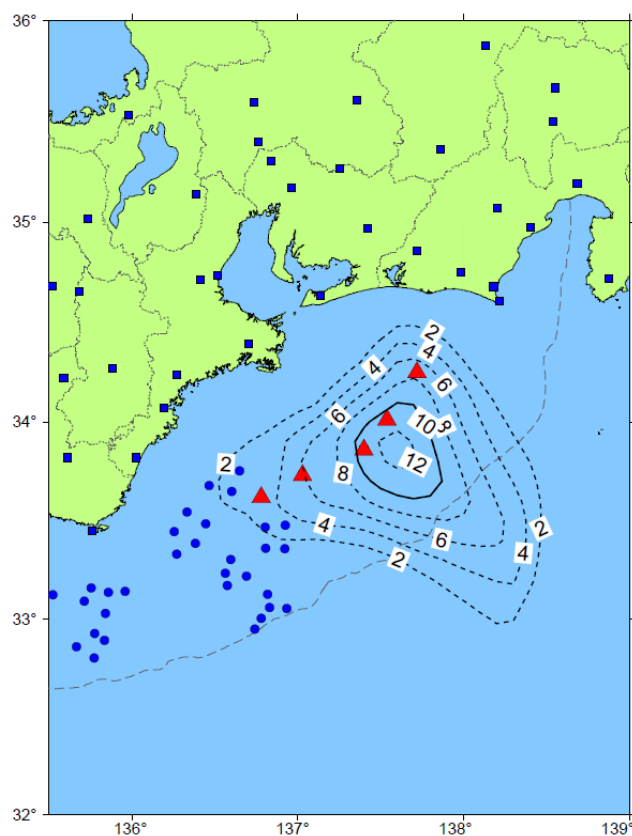
このため、当該観測点の観測データを緊急地震速報の発表に活用できない状態となっています。当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で13秒程度遅くなる可能性があります（別紙参照）。

なお、津波の監視には影響はありません。また、津波警報や地震情報の発表までにかかる時間にも影響はありません。

復旧しましたら、あらためてお知らせします。

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う
緊急地震速報への影響について

当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システム（下図：赤▲）、国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム（DONET）（下図：青●）が設置されており、これらの観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



図中の等値線は、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴い、緊急地震速報への活用を停止した場合、通常時より発表がどの程度遅れるかを秒数で表したものの。